



2021年新人看護師



ご挨拶

副院長 高村 昌昭

4月より長岡中央総合病院に副院長として赴任いたしました消化器内科の高村昌昭と申します。

私は平成8年に新潟大学を卒業し、関連病院での研修後、大学院生として国立がんセンター（現、国立がん研究センター）研究所病理部で肝悪性腫瘍の研究後に帰局しました。帰局後は悪性腫瘍の診療だけでなく、原発性胆汁性胆管炎や自己免疫性肝炎といった難治性肝疾患や急性肝不全の診療、ウイルス肝炎の診療・啓発活動も行い、幅広く肝臓病学の研鑽を積んで参りました。

中越地域の勤務は初めてであり、かつ大学以外での久しぶりの診療となります。職員の皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、早くこの環境に慣れて、少しでも中越地域の皆様のお力になれるよう頑張りたいと思っております。当院の消化器内科は非常にアクティブに診療を行っておりますので、肝臓病分野の診療をさらにレベルアップできればと考えております。

これからも、微力ながら当院の発展に寄与できるよう努力していく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

とうけいぶ 頭頸部がんってご存じですか？

〈頭頸部がんとは〉

頭頸部がんは耳鼻咽喉科領域のがんで簡単に言うと首より上(眼、脳は除く)のがんです。

どのような種類があるかという点で口腔がん(舌、口腔底、頬粘膜など)、唾液腺がん(耳下腺、顎下腺)、咽頭がん、喉頭がん、甲状腺がん、聴器がん(外、中耳)、鼻・副鼻腔がんなど様々な場所に発生します。

〈症状〉

声をつくる声帯というところのできるがん(喉頭がん)は声がかすれやすく、症状がでてから受診された場合は早期がんで見られることが多いのですが、その他の場所のがんは首のリンパ節が腫れたり、息が苦しくなったり、食べ物をのみこめなくなったりして受診されることが多く、その場合は進行がんの状態であることが多いです。

〈治療〉

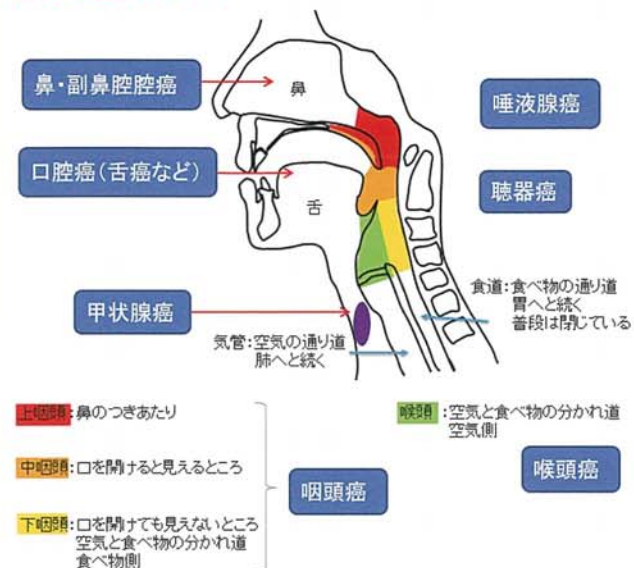
頭頸部がんの治療はがんの進行度にあわせて手術、放射線、抗がん剤の組み合わせで行います。早期がんであれば体の負担が少ない治療で治すことができますが、進行がんの場合は手術による腫瘍を切除し形態や機能をたもつために再建手術が必要になるか放射線と抗がん剤による治療が必要になる可能性が高く、長い期間の入院が必要で治療後には見た目や呼吸、飲み込みの機能が治療前と変わってしまい以前のような生活ができないことがあります。

〈疫学〉

頭頸部がんの発症にはタバコ、アルコールの影響があり、なかでもアルコールを飲んで顔が赤くなる(または赤くなったことがある)人はアルコールを分解する過程に必要な酵素が十分でないため、口からのどま

頭頸部がんとは？

首より上のがん(眼、脳は除く)



で(口腔、咽頭)のがんになりやすいとされています。

頭頸部がんの発生率は全がん種の中で約5%です(甲状腺がんを含む)。年間約98万人の患者さんが新たにがんを発症し、そのうち頭頸部がんは約4万5千人です。

人口10万人あたりに35人くらいの患者さんが頭頸部がんになる計算です。

男女比は男性に多く、罹患数は男女ともに肺がん、大腸がん、胃がんなどにつづき第6位になります。(国立がん研究センター がん登録・統計 2017年より引用)

中越地区(長岡、見附、県央、柏崎、南魚沼、十日町)の医療圏の人口は約75万人ですので、その地域では毎年約260人が頭頸部がんになる計算になります。

頭頸部がんを疑う首から上の症状があるようでしたらまずお近くの耳鼻咽喉科を受診して診察していただく事をおすすめします。

記事担当

耳鼻咽喉科部長 岡部 隆一

もっと知ってほしい！部署のこと

外来 2ブロック

2ブロックは長岡中央総合病院の中で一番大きなブロックになります。

診療科は一般内科、腫瘍内科、消化器内科、外科に分かれています。

一般内科は腎臓内科、内分泌内科、血液内科、総合診療科など多岐にわたる専門的な診察を行っています。

腫瘍内科は2017年4月に立ち上がったばかりの比較的新しい診療科になります。化学療法を中心とした様々ながんに対する治療を行っています。

消化器内科は消化管、肝臓、胆道・膵、炎症性腸疾患を専門とする医師が各種疾患に対応しています。内視鏡治療、検査など積極的に行っています。

外科は消化器外科、乳腺疾患の診察を行っています。手術件数は年間1000件以上になります。

2ブロック内には化学療法室があり全診療科の患者様が一日平均40～50名ほど治療に来られています。がん診療拠点病院の当院では各診療科、部門が連携し治療が行われています。

私たちは患者様が安心して診察が受けられるようこれからも日々心がけていきたいと思えます。



2ブロックスタッフ一同



栄養科
ワンポイント
コーナー



旬の野菜を食べよう ～夏野菜の力～

野菜には「旬」があります。旬とはその野菜をおいしく食べられる時期の事を指します。旬の時期には味がおいしくなるだけでなく、含まれる大切な栄養素の量もぐっと増えます。太陽の日差しをたっぷり浴びて育った夏野菜。ビタミンCやビタミンE、カロテンやカリウムなどを含む栄養満点は野菜ばかりです。水分たっぷりなきゅうりやトマトは火照った身体をクールダウンしてくれる救世主！ほかにも茄子や枝豆など夏バテ予防に食べたい食材が多数。夏野菜をふんだんに使用した料理で暑い夏を乗り切りましょう。

* トマト～

トマトと言えばリコピン！その抗酸化作用は高く、ビタミンEの100倍以上。もちろんビタミンCも含まれていて美肌・美髪の手助け。リコピンは油と一緒に摂取する事、加熱することで吸収率がアップします。

* 茄子～

茄子は身体にこもる熱を体外に出してくれるので水分補給にピッタリな野菜。皮の紫「アントシアニン」や果肉の「クロロゲン酸」は抗酸化作用があり、紫外線のダメージから肌を守ってくれます。

* きゅうり～

きゅうりは95%以上が水分。栄養価は高いとは言えませんが身体を冷やす効果があります。自然と身体が冷え、同時にむくみを取り疲労回復にも役立ちます。

記事担当：栄養科 馬場 優子

病院からのお知らせ

✓ 5月12日は看護の日

看護部の取り組みとして「やりたい看護」「行っている看護」のポスターを作り、病棟内に掲示し、総合案内のモニターを使ってPRいたしました。

看護の日とは…

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました
今年で生誕201年になります



私たち、看護部が目指している看護

- * 思いやりの心を持ち、患者様やご家族の気持ちに寄り添う看護
- * 3つのHを持った看護
Head・Hand・Heart

看護部長
土田八重子
5月12日は
看護の日



患者サポートと看護部長
(左から外山、小川、土田看護部長、大桃)

✓ 新型コロナウイルスワクチン接種について

長岡市内のコロナウイルスのワクチン接種も進んできています。

当院では、今後も集団接種会場になる予定はありませんが、個別接種の予定はありません。なお、予防接種の可否についてのお問い合わせは対応しますので、以下の通りをお願いします。

- ① 近日、受診予約のある方は、受診時に主治医への確認をお願いします。
- ② お問い合わせは主治医、外来日の平日 月曜日～金曜日 9:00～16:00に電話をおかけください。
(代表) 35-3700にかけて通院中の診療科にお伝えください。

✓ ISO15189 (臨床検査) の認定取得

検査科と病理部は、2021年4月16日付けでISO15189の認定を受けました。ISOとはInternational Organization for Standardization (国際標準化機構)の略で、産業の国際標準を定める国際機関であり、ISO15189は其中で臨床検査に特化した認定です。すなわちこの認定は、本院の検査科と病理部が国際規格に基づく技術能力を有する臨床検査室であると客観的な外部評価を受けたことを意味するものです。新潟県内では7施設目の施設です。



✓ 耳鼻咽喉科外来からのお知らせ

当院の耳鼻咽喉科外来では、令和3年5月から「完全予約制」とし、初診および再来は「予約のある方のみ」の診療とさせていただきます。

「予約のある方のみ」とすることで、救急を要する場合の迅速な対応、がん診療連携拠点病院としての円滑な診療につなげていきたいと考えております。

初診の方は、紹介状と事前予約が必要となります。

ご予約がない場合は症状や緊急性などを考慮し、後日の診察予約を取らせていただく場合もございますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

なお、「予約がある方」で急な症状悪化など、予約外の診察を希望される方は耳鼻咽喉科外来までご連絡ください。

ご不明な点などがありましたら、耳鼻咽喉科外来までお問合せください。